

平成28年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	河口湖線			事業者名	富士急山梨バス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	河口湖	旭日丘	御殿場駅		
系統キロ程 (km)	37.9	輸送量 (人/日)	59.5		
平均乗車密度 (人/便)	5.0	運行回数 (回/日)	12.0		
公共・拠点施設	学校	御殿場西高校、須走小・中学校、山中湖小・中学校、富士吉田市立看護専門学校、日大セミナーハウス			
	病院	富士吉田市立病院、渡辺整形外科			
	商業施設	JA御殿場、キリンデスティナリー、ケースデンキ、JA須走、道の駅すばしり、ファナック、道の駅富士吉田、都留信用組合			
	その他	御殿場市立図書館、御殿場市民会館、須走支所、自衛隊富士学校、山中湖村役場、山中湖郵便局、自衛隊北富士駐屯地、上吉田コミュニティセンター、須走浅間神社、天恵、森の駅旭日丘、文学の森公園、忍野八海、さかな公園、忍野温泉、北口本宮富士浅間神社、富士急ハイランド			
収支率 (%) (収益/費用)	68.4	乗車人員 (人)	179,378		
乗換可能なアクセス拠点等	拠点3 バス停11	名称	拠点：JR御殿場駅、富士急行富士山駅、富士急行河口湖駅 バス停：湯沢、くみ沢、図書館前、須走浅間神社、山中湖旭日丘、山中湖村役場前、富士山山中湖、忍野入口、セメ草、横町、警察署前		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	90.3				
増収策	<p>ア. バリア解消のため、低床バスを積極導入した。 (大型超低床：8両、中型超低床4両※環境保全対応車3両含む)</p> <p>イ. 御殿場北部11や小山須走エリアの生活交通ネットワーク構築と山梨の内野地区の新規需要を創出するため、幹線バス、河口湖線の内、御殿場プレミアム・アウトレット発着便(8.5往復)の経路変更を行った。(H27.11実施)</p> <p>ウ. 利用者に配慮した取り組み ①幹線バス、周遊バス停留所に「バスの乗り方 案内看板(日・英)」を設置した。 ②拠点・河口湖駅のコンシェルジュデスクの人員増員を行い、案内強化を図った。 ③自社管内の全バス停ポールを多言語対応含め一新した。(H28.2実施) ④地元「C A T V 富士五湖」と、高速バス、鉄道と共に乗合バスのダイヤ情報(幹線バス、コミュニティバスのデータ放送契約を結び当該情報発信を継続実施。 ⑤接客コンテスト開催による乗務員・窓口係員の「礼儀」強化を図った。 ⑥富士登山バスの利用者に「富士登山下山間違え防止マップ(日・英)」を作製・配布した。</p> <p>エ. イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動 ①バス利用案内戸別訪問の継続実施。(H26.11～継続実施、307件) ②「やまなし公共交通フェスタ」に参加し、バス利用PR実施。H27.12実施 ③関東運輸局「観光まちづくりカレッジ」事業を実施。富士宮市、富士河口湖町、両市町関係者と協議体「富士山西麓地域観光連絡会議」を設立。公共交通による国道139号エリア(白糸、朝霧高原、本栖湖、精進湖、富士ヶ嶺)の広域的観光活性化を推進。 28年度事業「富士山西麓物語バスポート&バス周遊券」を策定。</p>				
費用削減策	<p>ア. 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等について、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を図る。</p> <p>イ. アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員への声掛け、街頭監査による注意喚起により、費用削減を図った。</p> <p>ウ. ドライブレコーダ(H25年度内で全車搭載済み)を活用し、事故防止に役立てることで事故による修理費等の削減を図った。</p> <p>エ. 車両の更新により、燃費効率の向上と修繕費の削減を図った。</p> <p>オ. 不採算路線・塩山駅～富士山駅線の廃止→定額タクシーモード転換をした。(H27.11実施)</p> <p>カ. 便の過剰供給区間を整理し、幹線バス「河口湖線」の御殿場プレミアム・アウトレット便(8.5往復)のコース変更を行い、運行の効率化を図った。(H27.11実施)</p>				
沿線市町のサポート	<p>【御殿場市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度策定した地域公共交通網形成計画において、広域的幹線として改めて位置づけを行い、公共交通に対する利用者意識の啓発と利用促進について目標と施策の設定を行った。 支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。 時刻表配布等の交通事業者の取り組みへの協力や、市広報紙やホームページ等の広報媒体の活用による公共交通の利用促進、啓発を実施する。 <p>平成28年度事業開始する「御殿場市高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業」においてバス乗車及びシルバー定期券購入助成を行うことにより、交通弱者への利用促進、啓発を実施する。</p> <p>【小山町】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に策定した小山町地域公共交通網形成計画において、広域的幹線として位置づけている。 支線としてコミュニティバスの運行、当系統との乗継割引を実施。 生活交通確保路線として、沿線商業施設との連携に取り組む。 高齢者の利用を促すため、シルバー定期券の購入費助成を実施。 地域間幹線と接続する高速バス時刻表の各戸配布の実施。 今後も公共交通会議を中心に、町民・交通事業者・行政が一体となって協働による利用促進を図り、地域交通の活性化に取り組む。 高校生通学利用者の確保に取り組む。 				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50</p> <p>輸送量(人/日) 150</p> <p>平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>運行回数(回/日) 30</p> <p>収支率(%) 100</p> <p>乗車人員(人) 300,000</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20</p> <p>広域利用状況(%) 100</p>				

運行路線図 (第6号)

運行系統名	運行系統				色別
	起点	経過地	終点	キロ程	
河口湖線	河口湖駅	膳棚、旭日丘	御殿場駅	37.9km	—

富士急山梨バス株式会社

【運行割合算定】※主系統

- ①河口湖駅～籠坂峠 20.51km
- ②籠坂峠～県境 0.77km
- ↓
- ①山梨県運行エリア = 21.28km (56.1%)
- ②静岡県運行エリア = 16.63km (43.9%)
- 合計 37.91km

【主系統と異なる区間】

- ①忍野入口～梨ヶ原 3.60km
- 計1区間
- ⇒10%以内かつ10km以内を適用する。

【設定系統】

- 16-8 河口湖駅～膳棚～旭日丘～御殿場駅※主系統 37.91km
- 16-6 河口湖駅～旭日丘～御殿場駅 35.91km (主系統との差異2.00km 5.3%)

H27.4.6～「御殿場プレミアム・アウトレット」発着便は適用除外。

